

美土乙第318号

平成20年10月24日

国土交通省道路局長 殿

美浜町長 山口 治太郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

① 道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

福井県美浜町

「道路特定財源に関する基本方針」に基づき、平成21年度から道路特定財源制度は、一般財源化されることとなり、道路財源の取り扱いについて広く議論されているが、急激な高齢化、少子化といった社会変化に充分対応できる「ゆとりを持って移動できる交通環境づくり」が重要であるとする。

地域の活性化を支える安全で安心な生活を確保するため、今後の道路のあるべき姿を以下の点について提案する。

- 1 生活幹線道路ネットワークの形成
 - ・ 中心都市と周辺市町村を結ぶ幹線道路の整備
 - ・ 高規格幹線道路の供用にあわせたインターアクセスの整備
 - ・ 生活道路の改良、維持補修の充実
- 2 快適で豊かな生活環境の構築
 - ・ ゆとりある歩道の整備及び安全・安心な自転車走行環境の整備
 - ・ 既設歩道の段差解消及び勾配の改善
 - ・ 高齢運転者増加に伴い道路標識をより大きくするなど標識方法の改善
 - ・ 災害の防止、景観向上のための電線類の地中化の整備
- 3 災害等に強い道路の整備
 - ・ 危険箇所の道路法面の整備及びロードヒーティングの整備
 - ・ 災害の恐れのある区間を回避する道路の整備
 - ・ 高速道路SAや道の駅を拠点としての整備
 - ・ 道路や橋梁の長寿命化対策に向けた維持補修の整備
 - ・ 冬季の降雪時の生活道路の確保

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

② - 1 地域の現状と抱える課題

福井県美浜町

○現状

美浜町は、福井県の南西部に位置し、東は敦賀市、西は若狭町と隣接しており美浜町を縦断する一般国道27号は、地域住民にとっての通勤・通院等の生活幹線道路で、若狭地方の地域経済の発展と観光資源開発に重要な役割を担う幹線道路である。北側に嶺南のバイパス的要素をもつ梅街道が接続して道路網を形成している。

一方、福井県での自家用車の保有台数は、人口千人あたり576.1台を越えており、通勤・通学時の交通手段などもみても、自動車交通への依存度が高く、美浜町においても道路が日常生活の最も主要な交通基盤施設である。

また、観光入込客数は、81万人で、その多くは日帰り客であり利用交通機関のほとんどは自家用車を利用していると予想され観光振興等の面からも道路の重要性がますます高くなっている。

○課題

- ・ 敦賀市、若狭町と東西を結ぶ主要幹線道路は、一般国道27号であり、観光シーズン、通勤時は国道や周辺道路の渋滞が発生している。一般国道27号のバイパス機能を兼ね備え、現在の自動車交通量に対応できる県道の整備が急務である。
- ・ 美浜東バイパスの全線供用開始にあたり、通行経路が変化することにより美浜東バイパス「佐柿ランプ」に車輛が集中し、町内中心部の通過交通量の急増と交通渋滞の激化が予想される。佐柿地区以西の一般国道27号の整備、高齢者、身障者が安心して通行できる歩道の設置やバリアフリー化が必要である。
- ・ 地域の道路を維持する除草清掃等社会活動への住民参加が減少しており、「みんなが利用する道路」という共同意識が低下傾向にある。きれいで安全な道路を維持するための経費が年々増え続け、道路環境を守れない状況にある。
- ・ 美浜町では、業者に道路除雪を委託しているが、近年経済情勢の影響を受け、委託業者の減少や保有機械の減少など除雪作業に支障をきたしている。近年、除雪機械をリースして貸与するなどの方策をとっているが、今後除雪活動に対する支援の拡充が必要である。

② - 2 地域の目指すべき将来像

福井県美浜町

美浜町が目指す将来像は以下のとおりである。

1 高規格幹線道路のネットワークの形成

観光の活性化及び都市との交流を図るため、舞鶴若狭自動車道、美浜東バイパスの早期整備実現また、高規格幹線道路の供用にあわせたインターアクセスの整備。

2 生活幹線道路のネットワークの形成

美浜東バイパスの全線供用開始にあたり、通行経路の変化により美浜東バイパス「佐柿ランプ」に車輛が集中し、これに伴って町内中心部の通過交通量の急増と交通渋滞の激化が予想されるため一般国道27号のバイパス機能を兼ね備えた県道の整備を実現。

3 安全な道路交通環境の整備

少子高齢化を迎え、安心して外出できる快適な歩行者空間（歩道設置やバリアフリー化）の整備を行い、快適で豊かな生活環境を構築する。

4 快適でうるおいのある道づくり

利用しやすい道路環境をめざし道路緑化の推進、道路美化の町民運動を展開し安全でうるおいのある道づくりを推進する。また、無電柱化による景観形成の確立

5 災害に強い道路の整備。

豪雨など自然災害が頻発する中、町民の安全・安心な生活や経済活動を確保するため、災害に強い道路の整備や災害の恐れのある区間を回避する道路の整備、また冬季の降雪期の雪対策の充実により雪をハンデキャップとしない地域づくりを推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等

福井県美浜町

重点事項	○ 代表事例	期待する効果や評価等	その他
地域活力の向上	舞鶴若狭自動車道、美浜東バイパスの整備及び一般国道 27 号のバイパス機能を備えた県道の整備	観光シーズン、通勤時の交通渋滞の緩和	
災害等に強い国土づくり	災害に強い道路整備及び災害の恐れのある区間を回避する道路の整備また冬季の降雪期の除雪活動による支援の拡充	町民からの信頼性の高い道路ネットワークの形成。 積雪が地域のハンデキャップとならず町民の安全を確保できる。	
少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	主要幹線道路の歩道の整備及びバリアフリー化の整備、既設歩道の段差解消及び勾配の改善	高齢者が安心して外出ができる快適な歩行者空間を確保ができ、安全な通学路を確保ができる。	
良好な生活空間・自然環境の形成	町民すべてが「みんなが利用する道路」意識を育て道路の維持管理を進め道路環境を守る。また、主要道路の無電柱化の整備	道路緑化や良好な景観が保たれる。	